

G空間サミット2021

開催日時：2021年1月22日（金）13時00分～17時30分

開催形態：Zoom ビデオウェブウェビナー（オンライン形式）

参加費用：無料・事前登録制

昨今の日本における“大災害の原因”は、従来の「地震・火山噴火」から、「台風・集中豪雨などといった気象変化に伴う災害」に変化し、特に九州においては、ここ数年毎年のようにどこかで発生する線状降水帯により、集中豪雨による災害が持ち回りのように各地で発生しています。そのため、いまでは災害は“特別なこと”ではなく、“いつでも、どこでも、何度でも起こるもの”へ変化し、私たちも日ごろから災害へ備えることを余儀なくされています。そのような状況において、「GIS」は極めて重要であり、特に災害対策においては、要の技術、まさにプラットフォームとしての役割を担うものだと、我々は考えています。

また、経済産業省が2018年12月に「DX推進ガイドライン」を発表して以来、DX（デジタルトランスフォーメーション）について語られる機会が増えていますが、DXを実現するためには優れたデジタルイノベーション（組織全体での運用プロセスを含んだデジタル化）が必須であり、多くの企業・団体は、まだまだ局所的なデジタイゼーション（アナログ情報のデジタル化）の段階にとどまっているのが現状と言えます。その原因の多くは折角デジタル化を行っても、その活用プラットフォームを保有していないため、組織全体としての運用プロセスが構築されておらず、それぞれの現場において、デジタル化のメリットが実感されていないためであると考えられます。

今回で5回目の開催となる「G空間サミット2021」では、様々なデジタルデータを視覚的・感覚的に扱うツールとして発展してきた仕組み「GIS」をいかにDXのプラットフォームとして活用できるのか、またその効果や今後の課題などについて、実際の活用事例を通して自治体・教育研究機関・民間企業の方々にお話しいただきます。

また一部従来の講演形式から、産官学の様々な立場の方々によるパネルディスカッションに変更し、災害時にどのようにGISを活用できるか、あるいは活用するための課題や問題点、事前に準備すべきことなどを議論していただきます。

■ 申込方法

お申し込みは、地域情報ポータルサイト G-motty (<http://www.g-motty.com>) もしくは下記 URL より前日までのお申し込みをお願いいたします。

<https://ttzk.graffer.jp/city-kitakyushu/smart-apply/apply-procedure-alias/g-kukansummit>

スマートフォンをご利用の方は QR コードからもお申込みいただけます。



(お申込用 QR コード)

■ 視聴方法

- ・ご登録者様毎に固有の視聴用 URL をご案内します。
- ・この URL にアクセスできる機器は1台限定となります。視聴用 URL の転送、共有はご遠慮ください。
- ・ウェビナー視聴時のお客様の通信環境によっては、映像や音声の品質が低下する場合があります。

主催：一般社団法人 G-motty / 共催：北九州市（総務局情報政策課 TEL093-582-2847）

時 間	講 演 者	内 容
13:00 ~ 13:05	北九州市 総務局情報政策部 部長 神野 洋一氏	開催挨拶
13:05 ~ 13:25	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 浦川 豪氏	開催趣旨説明
13:25 ~ 13:55	株式会社イノP (農家ハンター) 井上 拓哉氏	基調講演 TV番組“情熱大陸”でも取り上げられた「ハイテクを駆使してイノシシ被害に立ち向かう農家たち」の姿を、そのリーダーに赤裸々に語っていただきます。
14:00 ~ 14:30	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 教授 森永 速男氏	基調講演 地図や地名から読み解く地域の歴史や特性 (仮)
14:35 ~ 15:05	一般社団法人 Cats ジャパン 代表 下岡 隆治氏	基調講演 「冒険観光 ちずあそび」 コロナ過における GIS と健康と地域貢献について
15:15 ~ 15:35	会津若松市 伊藤 文徳氏 (リモート講演)	自治体活用事例 世帯主ポイント作成の窓口運用
15:40 ~ 16:00	苅田町	自治体活用事例 行革甲子園グランプリ !! 水道業務における GIS の活用
16:05 ~ 16:25	東日本電信電話株式会社 ビジネスイノベーション本部 課長 伴野 淳志氏 (リモート講演)	災害時活用事例 様々な災害現場で、罹災証明の発行や生活再建支援業務の実務を通して見えてきた、課題や問題点について
16:30 ~ 16:50	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 研究員 折橋 祐希氏	災害時活用事例 生活再建支援業務における地理空間情報の活用について
16:55 ~ 17:25	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授 浦川 豪氏 研究員 折橋 祐希氏 自治体 宝塚市・丹波市・会津若松市 (リモート参加) 北九州市・直方市・苅田町 東日本電信電話株式会社 ビジネスイノベーション本部 課長 伴野 淳志氏 (リモート参加)	パネルディスカッション 毎年のように発生する線状降水帯による災害は、いつどこで発生しても不思議ではない状況となっており、これらに対する備えは、自治体にとってまさに喫緊の課題と言えます。 ついては、産学の専門家による知見や実際の体験をもとに、その基盤となる情報システムの利活用における問題点や課題を、各地の自治体職員を交えて議論を行うとともに、既に GIS プラットフォームを保有している我々として、事前にできることは何かなどを考えていきたいと思います。
17:25 ~ 17:30	一般社団法人 G-motty	閉会挨拶

● プログラムは都合により変更になる場合がありますので予めご了承ください。